

式典次第

■開会式 第1日 9:00 (集合完了8:55) 集合 各校1名旗手のみが整列 (メインスタンドに向かって右より大津商・大津……と4ページ学校順に整列) - 開式通告 - 国旗・高体連・滋賀陸協旗掲揚 - 優勝杯・優勝盾返還・レプリカ授与 - 男子総合 彦根翔西館高校 - トラック 彦根翔西館高校 - フィールド 彦根翔西館高校 - 女子総合 草津東高校 - トラック 草津東高校 - フィールド 草津東高校 - 挨拶 高体連陸上競技専門部 部長 筧美貴 - 競技開始宣言 審判長 - 選手代表宣誓 彦根翔西館高校 清水隆希 - 閉式通告	■閉会式 第3日 (競技終了後) 集合 各校整列 (開会式と同じ学校順にて) - 開式通告 - 成績発表 - 表彰 賞状・優勝杯・優勝盾授与 - 大会新記録樹立者紹介 最優秀選手賞授与 (男・女) 総合優勝監督賞授与 (男・女) - 挨拶 高体連陸上競技専門部 部長 筧美貴 - 国旗・高体連・滋賀陸協旗降納 - 閉式通告
--	---

競技注意事項



- 競技規則について
2025年公益財団法人日本陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項により実施する。
オープン種目についても全て競技注意事項に準ずる。
- 招集について
 - ①選手招集は雨天練習場で実施する。
 - ②招集開始時刻に係員からアスリートビブスとスパイクの確認を受け、競技者係の誘導指示に従う。現地での最終点呼の代理は認めない。ただし、複数種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻までエントランスホールのTICに用意されている「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、招集所に提出し、さらにスパイク・アスリートビブス等の確認を受けること。
 - ③欠場する選手は、招集開始時刻までに上記QRコードを読み取り、V-TICにて「欠場届」に必要事項を入力・提出すること。
 - ④招集時刻(競技開始時刻を基準とする。)

トラック 予選								
100m・200m・400m			800m・110mH・100mH 400mH・4×100mR			1500m 4×400mR		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1～4	25分前	15分前	1～3	25分前	15分前	1～2	25分前	15分前
5～8	15分前	5分前	4～6	15分前	5分前	3～4	15分前	5分前
9～12	5分前	5分後	7～	5分前	5分後			
13～	5分後	15分後						

トラック 決勝		フィールド					
全種目		跳 躍 / 男子 砲丸投・やり投		投てき / 男子 走高跳		女子 走高跳	
開始	完了	開始	完了	開始	完了	開始	完了
25分前	15分前	60分前	50分前	50分前	40分前	40分	30分

- ⑤リレーに出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」(TICに用意)に記入のうえ、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までにTICに提出すること。ただし、オーダー提出後の変更については、主催者の指定する医務員の許可がある場合のみ認める。その場合は、「リレーオーダー変更届」をTICに提出すること。変更する箇所については、出場する競技者のみ認められ、走順の変更は認めない。「リレーオーダー変更届」はTICおよび総務・医務に用意する。

⑥携帯電話、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチ等の通信機器を招集所・競技エリア内に持ち込むことを禁止する。

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは必ず胸、背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。
- ②写真判定にともなう腰ナンバー標識は、右側後方につけること。
- ③3000m決勝、3000mSC 決勝、5000mW 決勝、4x400mR(2・3・4走)については別腰ナンバー標識を使用する。
男子800m、1500m、5000m、女子800mについては別腰ナンバー標識を両腰につけること。招集所で受け取り、フィニッシュ後に競技者係に返却すること。

4. 競技の抽選および番組編成について

- ①予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。ただし、800mについて、9名の場合は7レーンに2名入る。なお決勝の組み合わせ(レーン順、試技順)は全て番組編成員が行う。
- ②タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を超える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められなければ、本人または代理人の抽選により次のラウンドへの進出者を決定する。ただし、オープンレーンの競技の同記録者は、全員次のラウンドに進出できる。シードグループの決定で同記録者が出た場合もプラスの決定方法に準ずる。
- ③トラック種目(リレー種目除く)でAB決勝・ABC決勝を行う場合において、予選記録上位8名がA決勝に、上位9位～16位までの選手がB決勝に、上位17位～24位までの選手がC決勝に進出とする。なお、リレー種目(女子4x400mRを除く)においてはA決勝に進出するチームを除く、予選記録上位8チームがB決勝に進出とする。

5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。
- ②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させる場合があるので、審判員の指示に従うこと。
(男子)5000m 18分 5000mW 33分 (女子)3000m 12分 5000mW 35分
- ③5000mにおいてはグループスタート、アウトレーンゴールとする。
- ④計測記録については下記のとおりとする。

男子	計測記録	女子	計測記録
砲丸投	9m00	砲丸投	6m00
円盤投	25m00	円盤投	15m00
やり投	42m00	やり投	15m00
ハンマー投	20m00		

- ⑤三段跳の踏切板は、砂場から男子12m00、女子9m00の地点に設置する。
- ⑥走幅跳・三段跳の競技前練習について、試技順に「公式練習2本」を行った後、競技開始時刻5分前までフリー練習とする。
- ⑦走高跳の競技前練習について、試技順に「足合わせ1本」を行った後、「公式練習2本」とする。競技開始時刻5分前までフリー練習とする。
- ⑧棒高跳の競技前練習について、フリーで足合わせを行った後、競技順に事前に決められた高さでの「公式練習2本」とする。
- ⑨女子棒高跳に出場する競技者は、男子の棒高跳競技終了後から招集開始時刻までの間、棒高跳ピットを使用して練習することができる。
- ⑩フィールド競技における手拍子についてはTOP8以降(走高跳・棒高跳においては上位8名程度)に限ること。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	種目	練習	バーの上げ方
男子	走高跳	1m45、1m70 1m85	1m50-55-60-65-70-75-78-81-84-87 以降3cm刻み
	棒高跳	2m30、3m50 4m00	2m42-62-82-3m02-12-22-32-42-52 以降10cm刻み
女子	走高跳	1m15、1m35 1m50	1m20-25-30-35-40-45-48-51-54 以降3cm刻み
	棒高跳	2m20、2m70 3m40	2m32-42-52-62-72-82-92-3m02-12 以降10cm刻み

* 同記録による1位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

* バーの上げ方(練習の高さを含む)については、天候等の状況により変更する場合がある。

7. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上、使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには学校名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。

- ③シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)の靴底(ソール)の厚さについては、レース後および競技中に確認することがある。
- ④皇子山陸上競技場の使用規定により、固定ピンスパイクシューズを除き、ニードルピンなど先端が尖ったピンの使用を禁止する。

8. 表彰について

- ①男女別総合優勝には優勝杯を授与して表彰する。(各種目の得点は1位8点～8位1点とする)
- ②男女別総合1位～6位には賞状を授与する。表彰は3位までとする。
- ③男女別トラック・フィールド優勝校に、優勝盾と賞状を授与して表彰する。
- ④各種目1位～3位までの入賞者に賞状を授与して表彰する。競技結果の正式発表のアナウンスがあったら直ちにエントランスホールに集合すること。その際、優勝者の部旗の掲揚を行うので、当該校で準備しエントランスホールに持参する事。
- ⑤男女最優秀選手各1名に盾を授与して表彰する。
- ⑥大会新記録樹立者を表彰する。
- ⑦男女別総合優勝校の監督に盾を授与して表彰する。

9. 練習について

- ①競技場練習の時間は1日目7:30～8:50、2日目・3日目7:30～9:00とする。3日目については、バックストレートの使用をW-upのみ11:40まで許可する。
- ②競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習等は禁止する。
- ③投てき練習(メディシンボール等を含む)は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ④多目的グラウンド横の走路はウォーミングアップで使うことができる。(多目的グラウンドは競技場側の半面のみ使用可。)
- ⑤トリムコースでのウォーミングアップは一般の通行人の妨げにならないように十分注意して行うこと。多目的グラウンド横のアスファルト舗装道路でのウォーミングアップは禁止する。

10. 正式結果の発表と抗議について

- ①競技結果については、アナウンスされた時点を正式発表とする。
- ②発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内)に、競技者自身または代理人が、TIC の担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

11. その他

- ①ロイヤルボックスとスタンド下通路の抽選は、7時15分にエントランスホールで行う。
- ②競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。
- ③各校、事前に決められた場所を使用すること。競技場外でのテントの設営は禁止する。各チームが出したごみは持ち帰りを基本とする。各チームで使用した場所は責任をもって清掃し、競技場の環境美化に努めること。
- ④貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ⑤各校の荷物は、すべての競技が終了したのちに、雨天練習場に置くことができる。
- ⑥横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりとする。
- ⑦大会で撮影した画像・動画等をSNS等へ投稿しないこと。
- ⑧スタート地点など、撮影禁止エリアでの撮影は認めない。審判員の指示に従うこと。
- ⑨フィールド競技に出場している競技者が、試技の確認のためにコーチ席や指定された場所の付近で、タブレットやスマートフォン等を受け渡すことは可能とする。その際に各自で用意したひもや袋等を使用することは認めるが、受け渡し時には、事故等が発生しないよう十分に留意し、確認後は直ちにコーチ席等に戻ること。万一事故などが発生しても、主催者は一切責任を取らない。メインスタンド・バックスタンドから投げ渡し等、危険な行為はしないこと。
- ⑩大会で使用した競技場の清掃については、下記の学校(当番校)をお願いします。

正面スタンド	玉川・守山	男子更衣室及び男子トイレ	草津東・大津
芝スタンド・競技場外周	東大津・草津	女子更衣室及び女子トイレ	草津東・立命館守山
スタンド男子トイレ	膳所・石山	玄関及び役員室	大津商
スタンド女子トイレ	膳所・石山	室内練習場	比叡山